



会長挨拶

充実した一年でした

会長 池田 かよ子

会員の皆様、日頃より当会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。

令和7（2025）年度に実施した事業と調査研究にも取り組みましたので、その一端を紹介します。

1点目は、2025年9月6日（土）、7日（日）に朱鷺メッセにて「ぼうさいこくたい2025 in にいがた」（内閣府等が主催し、産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベント防災推進国民大会（通称 ぼうさいこくたい）が開催され、当会も「考えよう、赤ちゃんと家族のための防災・減災！」をテーマに出展しました。一般市民や企業、自治体関係者含め、400名以上の人たちが来場され、災害対策の重要性はもちろんのこと、当会のPRの良い機会になりました。

2点目は、2つの調査を実施しました。①「助産師による産前産後支援活動に関する実態調査」です。当会の会員の動向を把握することを目的に行いました。その結果、会員の6割は産前産後ケアに携わっており、主な活動状況は多様であり、実施体制について様々な課題も明らかになりました。調査は継続中ですが、結果の一端を2025年11月の新潟母性衛生学会にて発表をしました。その後の結果は2026年5月の県の総会でも報告する予定です。

②「A県内の市町村における母子保健事業の現状と助産師活用に関する調査」です。市町村の母子保健事業の現状と課題、助産師の活動状況を明らかにし、地域保健活動における助産師の役割強化のための方策を検討することを目的に行いました。その結果は2026年5月の日本助産師学会でポスター発表を行います。5月の県の総会でも報告する予定です。

3点目は、当会は2027年7月に創立100周年を迎えます。この100年という節目に、諸先輩方が築いてくださった当会の歴史とこれまでの活動および今後の進むべき道標となることを祈念して記念誌の刊行に向け、準備に取り組んでいます。また、記念式典は2027年5月7日（金）ですので、皆さまには今からご予定くださるようよろしくお願いいたします。

4点目は、日本助産師会南北関東地区研修会を2027年7月10日（土）、11日（日）に開催します。前回のメインテーマであった「助産師活動の創生と実践」を引き継ぎ、サブタイトルに「～次世代の子育てを考え、伝える助産師の力～」としてプログラムを検討しています。皆さまには今からご予定くださるようよろしくお願いいたします。

5点目は、新潟県委託事業である電話相談のDX化を推進し、電話相談からメール相談に変更しました。新規の相談も増え、2026年4月1日の開始を待っています。

6点目は、若者や女性に選ばれ、子育てに優しい新潟の実現に向けて、新潟県の新規事業として2026年度に「こむすび出産応援タクシー」普及促進事業に参加していきます。

ニュースレターでは、当会の研修会や各地区での取り組み、トピックスなどお知らせすることにより、当会をより身近に感じていただきたいと思います。

今後もニュースレターの内容を充実していくために、会員の皆様からさまざまな情報をお寄せいただきますようお待ちしております！



いいお産の日報告

燕・三条地区

燕市の吉田すくすく支援センターにていいお産の日のイベント「子育て世代の災害への備え」を開催しました。

災害が多い中、みなさんの関心も高く68名の方にご来場頂きました。

災害時の避難備え物品をリュックに詰めて、重さを測り、子供を連れて避難できるか体験しました。

また、一本帯でのおんぶや、大判バスタオルでのスリングのやり方を紹介しました。

避難物品を用意されている方も多くいらっしやり、中身の再確認や、選別をされていました。

今年は、液体ミルクや使い捨て哺乳瓶を手にとってみて頂き、使い方などをお知らせしました。

1人ひとりの備えが、緊急時の安心に繋がるよう準備できるといいですね。



上越地区

- ① 育児・母乳・体重身長測定
 - ② デコルテマッサージ
 - ③ 防災用品の準備について・災害時の授乳用品（備蓄品）
- 災害時のカップ授乳の展示説明の3つのブースで開催しました。

参加者32組の親子（重複参加）
 デコルテ希望27組・育児相談27名（ほとんどパパ同伴）
 マミーズ・ネットのクリスマスフェスに参加して行いました。
 フェスの参加者は1200名。様々なワークショップなど毎年行う行事。助産師としてできることNPOとしてできること、協力し合うことを大切にしています。



11/17「私災害体験」と題して長岡市の防災士・石黒みち子さんの講演を行い、昨年から続き2年目で災害時の助産師の役割を学び、それを生かすことも入れようと思いました。

今年の防災国体で習ったカードでグッズを選ぶ方法



昨年PRの仕方を課題にしていたのですが、単独でやるには難しいところ大勢集まるところでやることで参加率が上がったのではないかと思います。



新潟地区



10月5日(日) 新潟市助産師会主催のいいお産の日イベント『目で見て学ぶ 助産師も一緒におうち防災』が江南区福祉センターきらとぴあで開催されました。
たくさんのご家族が参加され、助産師による「ボウカツ」の迫力あるドラマ、防災士の佐久間沙都美さんからの防災のお話し、消防士さんから乳幼児の救急蘇生法や手当のお話し、食生活推進委員さんから災害時の食事の工夫などお話ししていただきました。助産師会も防災グッズの展示、抱っこ紐の使い方などの指導もさせていただき、とても内容の濃いイベントとなりました。
ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

柏崎地区

11月1日に「いいお産の日2025柏崎」をワークプラザ柏崎の2階和室で開催しました。昨年は開催できませんでしたが、例年、イベント開催していた同じ会場を確保できました。主な内容は、「体重測定、妊娠中から育児中の方、ご家族からの相談を受ける」というものでした。開催の案内が遅くなったこと、午前みの開催、悪天候等の理由からか、残念ながら参加者はゼロでした。令和8年は、早い時期に、企画・開催案内ができるようにします。地域の皆様に、イベントを知っていただけるよう、毎年開催を目指します。



長岡地区

【すこやかともしびまつり2025】のお仕事体験ブースの中で、助産師のお仕事体験を行いました。参加者に、赤ちゃん人形を使い実際に計測をして母子手帳に記入してもらいました。参加者は、2歳から12歳までのお子さん107名の参加があり、大盛況で、担当スタッフは休む暇もありませんでした。

(参加者の声)

なぜ助産師さんになったのですか？
助産師さんは楽しいですか？
どうしたら助産師さんになれますか？
いところが保健師さんを目指しています。
わたしは助産師さんもいいなと思いました。



新発田地区

新発田地区助産師会は、12月7日（日）開催の新発田市人権フェスティバル主催「ミニしばた2025」に参加しました。敬和学園大学生が運営する「ミニしばた」は子どもたちが興味のある仕事を体験できるイベントです。私たち助産師は運営のサポートを行いました。

助産師の仕事に興味がある子どもたちに対し、助産師の仕事の担当学生が助産師の仕事や生や性の大切さについて説明を行いました。丁寧な説明で小学生も理解しやすいようでした。

運営のサポートの他、送迎の親御さんから性教育や子育てについてなど立ち話から個別で相談を受けることもありました。また担当学生以外にも他のブースの学生さんたちとも交流が持て、月経痛や恋愛、就職後の生活など相談を受けることもありました。

今年は妊婦ジャケットや赤ちゃん人形を準備しました。子どもたちや親御さん、大学生、孫育てしている方々から体験していただきました。皆さん関心が高く、妊婦の大変さや子育ての大切さや振り返りができていたようでした。

参加した助産師も楽しく元気になるイベントでした。



魚沼地区

令和7年11月6日、南魚沼市の後援を得ながら、「子育ての駅 ほんのぼの」にて「助産師が行う妊娠・出産・育児相談」を開催しました。

午前の部（10時～12時）・午後の部（13時～15時）に、11組の母子、妊婦1人、夫2人の計25名が参加されました。

お子さんの体重・身長計測やママの血圧測定、希望者への乳房ケアなどを行い、日ごろ気になっていることを助産師へ気軽に相談する場としました。また、DVD鑑賞やおんぶ紐（“もっこ”）の紹介と実演、妊婦体験なども行いました。

初めて“もっこ”を使用しおんぶ体験をしたママは、両手があく身軽さと想像以上に体への負担感がないことを実感されていました。普段はおんぶを嫌がるお子さんも穏やかな表情でママの背中にピタッと密着しているのが印象的でした。普段使っただけでなく、災害時などいざという時の使用について考えるきっかけになったのではないかと感じました。

今年度は例年よりも少ない参加者でしたが、余裕をもって話を聞くことができました。参加者全員から、2～6か月ごとにこのような子育て支援の定期開催を望む意見が聞かれました。アンケートにも「不安解消ができた」「自信が持てるようになった」「乳房ケアが受けられて良かった」などの感想が書かれており、不安軽減や安心感を与えられたこのイベント開催の意義が果たされたと思いました。

昨年までは南魚沼の助産師だけで行っていましたが、今年度は魚沼地区（魚沼、南魚沼、十日町）の助産師が協力して行いました。お昼休憩時に食事をしながら一緒に交流でき、楽しく過ごせました。

来年度も行政や魚沼地区会員と協力しながら開催していきたいと思えます。



県助産師会事業

助産師が講座・健康相談をお受けします！

公益社団法人 新潟県助産師会

生と性の健康教育講座 子育て関係講座
陣痛タクシー他企業向け講座 プレパパママ教室
両親学級 育児相談会 助産師の健康相談会
不妊相談 他

こんな内容です！



にいがた助産師そうだん

～赤ちゃん・子育て・妊娠・思春期・からだのこと～



あなたの
お悩みに
そっと寄り添う
助産師が
ここにいます。

オンラインでの
相談がどなたでも
無料でできます

電話相談がメール相談にリニューアルしました

助産師は、妊娠・出産・子育てを中心に、思春期・更年期・老年期、全世代の女性と、その家族の障害にわたる健康支援の専門職です。
性と生殖に関する健康と権利を軸として、全世代のwell-beingに携わり、妊娠や子育ての困りごと、思春期や更年期の戸惑い、あなたの思いと一緒に考えます。性別や年齢を問わず、どなたでも相談できます。

研修会のご案内

公益社団法人 新潟県助産師会主催
令和8年度
妊産婦・新生児・乳幼児等支援者研修会

方法 オンライン+オンデマンド配信
日時 2026年4月17(金)-18日(土)

テーマ:多様なニーズに対応する助産師のケア
プログラム

1日目 2026/4/17 (金)

09:15 入室開始
09:20 オリエンテーション
09:30 講演I 「新潟県の母子保健に関する統計と現状」
09:45 <休憩>
10:30 講演II 「乳幼児の発達を促す支援者のかかわり-マザーズを活用して-」
10:45 <休憩>
12:20 <休憩>
13:30 「今求められている産後ケア-これから助産師はどう進むのか」
15:30 1日目終了 退室

2日目 2026/4/18 (土)

13:40 入室開始
13:50 講演III 「あなたはただ妊婦さんを持ちますか? : 助産師が向き合う不妊症のいま」
14:50 <休憩>
15:00 講演IV 「緊急避妊薬のOTC化について」
16:30 2日目終了 アンケート記入 退室

研修会のお申し込みについて

- 研修会の申し込み期間 2026年2月18日(水)12:00~4月8日(水)9:00になります。参加費のご入金期限も4月8日(水)9:00までとなります。
- 申し込み方法 新潟県助産師会社内の研修案内から、新潟県助産師会会員・会員以外・県内助産師学生の該当するフォームを選択し、二人までお申し込みください。事務局からお申込み完了メールをお送りします。メールが届かない場合は事務局にご連絡ください。
- 受講方法 当日はZoomによるオンライン研修です。ご入金後4月14日(火)に、講義資料・Zoomの接続情報(URL・ID・パスワード)終了後のアンケートをメールでお送りします。
- オンデマンド配信について 当日受講された方は後日配信されるオンデマンド視聴も可能です。(準備ができ次第ご連絡します) 終了後はオンデマンド配信版に発行します。

※各種お問い合わせは前日の4月14日(水)12:00までにお願います。研修会当日のお問い合わせには対応できません。また、入金後の返金はできませんので、ご了承ください。

研修区分	研修料	申込先	備考
新産科助産師研修	7,000円	ゆうちょ銀行	【口座名】(公社)新潟県助産師会
会員以外	9,000円	ゆうちょ銀行	【記号】11230
助産学生	無料	ゆうちょ銀行	【記号】128(イチニハチ) 普通預金
			【番号】26439471
			【口座番号】2643947

お問い合わせ先
公益社団法人 新潟県助産師会
〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町2-11
TEL 025-267-9772 / FAX 025-265-1345
E-mail n-iyouanshi.jp@niigata-midwife.jp
https://niigata-midwife.jp

詳細はHPを
ご覧ください♪
お申し込みはお早めに。
ともに学びましょう!!



ホームページを随時
更新しています!
定期的にご確認ください◎



ご寄付のお願い
新潟県助産師会の活動にご賛同くださいますよう皆様からの温かいご支援をお願いいたします。
<お問い合わせ ☎ 025-267-9772>

広告掲載募集中
<お問い合わせ ☎ 025-267-9772>



新潟県助産師会

検索

<編集後記>

ニュースレター12号をお届けします。今号も各地区での『いいお産の日』の取り組みをご紹介しました。執筆して下さった皆様の御協力に感謝申し上げます。
今後も新潟県助産師会の活動を広く知っていただくために、ニュースレターを不定期で発行していきます。取り上げてほしいテーマ・内容のご要望がありましたらお知らせください。ご投稿もお待ちしております!!
(広報委員会:佐久間・青木・中野)

新潟県助産師会ニュースレター第12号 2026年3月

発行人 公益社団法人新潟県助産師会 会長 池田 かよ子
広報委員会

〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町2丁目11番地
(TEL) 025-267-9772 (FAX) 025-265-1345
(HP) https://niigata-midwife.jp

